

## 第5章 今後の進め方

### 1. 課題の整理

ここまで、本市の公共施設等の現状について分析を行うとともに、展望人口や将来的な財政状況を踏まえ、次のとおり課題の整理を行ったところでありますが、人口減少とともに財政的な制約がますます高まる中では、現在有している公共施設等を維持していくことは困難であり、市民の皆様が安全・安心に公共施設等を利用いただくためにも、将来にわたって持続可能な公共施設等のあり方を考え、公共施設等全体の最適化を図る必要があります。

#### (1) 展望人口

本市の人口は、「いわき創生総合戦略」に位置づける政策パッケージを重点的に実施し、人口動態の改善を達成した場合でも、2060年までには約22万8千人まで減少することが見込まれております。

#### (2) 財政状況

人口減少、特に生産年齢人口の減少は、市の一般会計における歳入の約4割を占める市税収入の減少を招くほか、主に国勢調査人口を算定の基礎としている地方交付税の減少を招くことが予想されます。

#### (3) 公共施設等の更新費用

現在、本市は1,334施設(4,647棟)の建築物のほか、道路や上下水道管をはじめとする多くの公共施設等を有しており、これらの公共施設等の今後40年間の更新費用の総額は1兆3,000億円に上り、単純な年平均は約330億円となります。

## 2. 公共施設等のあり方を検討するにあたっての基本的な考え方

今後は、中山間地域、沿岸域、市街地それぞれの地域のコミュニティが維持できるような拠点と仕組みの構築を念頭に置きつつ、市民の皆様の意見を取り入れながら次に示す基本的な考え方に基づき更に検討を深め、本市の公共施設等の更新・統廃合・長寿命化等に関する基本的な方針を「(仮称)いわき市公共施設等総合管理計画」として策定していきます。

### (1) 公共施設の総量の適正化

- ①本市の将来の人口や財政状況を勘案し、適切な行政サービスの水準を維持しながら、無理のない公共施設の削減目標を検討し、公共施設の総量を抑制する取組を進めます。
- ②地域にある複数の施設を統合するほか、広域的な機能を有する公共施設の統廃合など、都市機能の集約を積極的に進め、施設の利便性をより高める効果的な配置を目指します。

## (2) 民間活力の活用

- ①施設の整備を検討する際は、市直営の施設整備だけではなく、周辺民間施設の活用なども検討していきます。また、公共施設等は日常の管理運営に多大な経費を要していることから、指定管理者制度などの民間活力を活用した管理運営手法のより一層の導入を進めます。
- ②用途を廃止した施設について、民間のノウハウを活用した有効活用手法を検討していきます。

## (3) 適切な維持管理と長寿命化等

- ①既存施設等を最大限に有効活用するために、予防的な修繕などの長寿命化対策を適切に実施し、安全・安心に利用できる公共施設等を目指すとともに、財政負担の軽減・平準化を目指します。
- ②予防的な修繕などの長寿命化対策を適切に実施するため、施設等の適切な点検・診断を実施します。

## (4) 効果的な管理体制の構築

今後、公共施設等の管理計画を策定していく際には、それぞれの公共施設等の老朽化度合や利用状況、提供サービスを他の施設で提供することの可否などを総合的に勘案し、更新の可否の判断や優先順位を決定していく必要があります。

そのために、現在、様々な部署が所管している施設の情報を一元的に管理するとともに、本市における各種計画との整合を図りながら、関係する所管部署間の調整を行い、公共施設等の全体的な管理運営をマネジメントする組織体制の構築を検討していきます。

いわき市 行政経営部 行政経営課

〒970-8686

いわき市平字梅本21番地

電話 0246-22-7410